

研究活動報告

この一覧は、本学生活科学専任教員の 2003 年 1 月～12 月における研究活動を本人の申し出に基づき収録しまとめたものである。(文責：紀要編集委員)

学術論文

- Inui, T., Ohkubo, T., Emi, M., Irikura, D., Hayaishi, O., and Urade, Y. Characterization of unfolding process of lipocalin-type prostaglandin D synthase. (2003) *J. Biol. Chem.* 278, 2845-2852.
- Mase, M., Yamada, K., Shimazu, N., Seiki, K., Oda, H., Nakau, H., Inui, T., Li, W., Eguchi, N., and Urade, Y. Lipocalin-type prostaglandin D synthase (β -trace) in cerebrospinal fluid: a useful marker for the diagnosis of normal pressure hydrocephalus. (2003) *Neurosci. Res.* 47, 455-459.
- Yusuke Hiraku, Kimiko Ito and Shosuke Kawanishi: Mechanism of UVA-Induced DNA Damage in the Presence of Endogenous Photosensitizers : Comparison of NADH and Riboflavin. *Photomedicine and Photobiology.* 25, 29-30 (2003)
- 秋永紀子：「中国貴州省の伝統的食文化について—大豆の加工食品(豆腐)および発酵食品について—」, 単著, 食生活学会誌, Vol.13(4), 293-299 (2003)
- 岩田俊二：「農事組合法人「やまゆり」の活動の枠組」, 『2003年度日本建築学会農村計画部門研究協議会資料「環境資源としての農山漁村—くらしが創りだす環境・空間—」』, pp75-76, 日本建築学会農村計画委員会, 2003年9月
- 岩田俊二：「津市との比較による熊野市中心市街地活性化への提言」, 『「芸術家・障害者・高齢者との共同参加型まちづくりによる地方都市商店街の再生」研究報告書』, pp71-75, 三重県高等教育機関連絡会議, 2003年3月
- 谷口水穂, 相内理沙, 丹羽順子, 山守 誠, 藤田修三：「高アミロース小麦デンプン中のレジスタントスターチ量と湿熱処理の影響」, 日本食物繊維研究会誌, 第7巻第1号, 2003年7月

紀要等

- 青木隆男：「イギリスの近代建築—19世紀における技術的な展開—」, 三重短期大学生生活科学研究会紀要第51号, pp59-68, 2003年3月
- 秋永紀子：「韓国の女子ハンドボール選手の身体特性と栄養状態について」, 単著, 三重短期大学生生活科学研究会紀要, 第51号, pp.17-24, 2003年3月
- 秋永紀子：「三重県伊勢市の児童の食行動と栄養教育について—Y小学校の食生活調査から—」, 単著, 地研年報第8号, pp.77-100, 三重短期大学地域問題総合調査研究室, 2003年3月
- 飯田津喜美, 金森さゆり, 奥山香澄, 乾 隆：「リポカリン型プロスタグランジンD合成酵素の熱変性機構」, 三重短期大学生生活科学研究会紀要, 第51号, pp1-4
- 乾 隆, 各務智子, 岸田麻利江, 谷口佳代子, 水谷麻美, 飯田津喜美：「破骨細胞依存性骨吸収における Monensin の効果」, 三重短期大学生生活科学研究会紀要, 第51号, pp5-8, 2003年3月
- 岩田俊二：「農村整備事業に見られる都市農村計画的特徴」, 三重短期大学生生活科学研究会紀要, 第51号, pp69-82, 2003年3月
- 岩田俊二, 中井加代子：「地区区分によるアンケートから見た津市中心市街地活性化方策に関する研究—地方中心都市の中心市街地活性化に関する研究—」, 地研年報第8号, pp17-41, 三重短期大学

地域問題総合調査研究室, 2003年3月

- ・谷口水穂:「三重県におけるいも料理“いももち”の調理特性について--いもの産地と行事--」, 三重短期大学生生活科学研究会紀要, 第51号, pp25-33, 2003年3月
- ・中井晴美, 石川純子, 藤田修三:「Bioplorerを用いた学内トイレの細菌汚染調査」, 三重短期大学生生活科学研究会紀要, 第51号, pp9-15, 2003年3月
- ・丹羽啓子:「地域福祉計画策定における住民参加の手法—モデル地域の実践をもとに—」, 単著, 三重短期大学生生活科学研究会紀要, 第51号, pp47-57, 2003年3月
- ・丹羽啓子:「老人保健福祉計画における介護予防事業の位置付け」, 単著, 地研年報第8号, 三重短期大学地域問題総合調査研究室, 2003年3月
- ・村田温子:「自己評価とファッション志向」, 単著, 三重短期大学生生活科学研究会紀要, 第51号, pp37-46, 2003年3月

その他の著作

- ・秋永紀子:「聞き書きふるさとの家庭料理」, 共著, 第2巻, 第3巻, 第4巻, 第6巻, 第7巻, 第8巻, 第14巻, 第15巻, 第17巻, 第18巻, 第19巻, (社)農山漁村文化協会 2003年1月~10月
- ・秋永紀子:「湖魚と近江のくらし」, 滋賀の食事文化研究会編, pp176-180, サンライズ出版, 2003年6月
- ・荒木寿友:“PROMOTING MORAL GROWTH: From Piaget to Kohlberg” (荒木紀幸監訳) Chapter 7: The Just-Community Approach 担当, 2003年12月 (入稿済)
- ・伊藤貴美子:「「イレッサ」は 夢の新薬?」, 環境と健康 16(1), 3-9 (2003)
- ・丹羽啓子:「社会福祉のための基礎知識 I」, 共著, 中央法規出版, 2003年12月
- ・冬木春子:「父親の育児ストレス」『育児をめぐるジェンダー関係とネットワークに関する実証的研究』, 平成13~14年度科学研究費補助金研究成果報告書, pp.48-57, 2003年3月
- ・冬木春子:「『父親の不在』をめぐる実証的研究」, 大阪市立大学大学院生活科学研究科博士論文, 2003年9月

学会発表等

- ・Inui T., Tanaka A., Urade Y., and Iida T. Thermal unfolding mechanism of lipocalin-type prostaglandin D synthase. The 76th annual meeting of Japanese Biochemical Society, Oct. 2003, Yokohama, Japan.
- ・Iida T., Imai K., Inui T., Uozumi N., and Kamo M. Membrane-bound heparin binding proteins from HL-60 cells purified in a two-step affinity chromatography differentially eluted with divalent cations. The 76th annual meeting of Japanese Biochemical Society, Oct. 2003, Yokohama, Japan.
- ・Popiel H. A., Nagai Y., Onodera O., Inui T., Urade Y., Strittmatter W. J., Burke J. R., Ichikawa A., and Toda T. Disrupting the toxic conformation of the expanded polyglutamine stretch by proline insertion leads to dramatic suppression of aggregate formation and cell death. Gordon conference on CAG triplet repeat disorders 2003, May 2003, Castelvecchio Pascoli Lucca, Italy.
- ・Inui T., Niwa S., Kadoyama K., and Ishibashi O. Matrix Metalloproteinase-9 antisense oligodeoxynucleotide inhibits osteoclastic bone resorption on MATRIGEL-coated dentine slices. International Bone and Mineral Society, Japan Bone and Mineral Society, June 2003, Osaka, Japan.
- ・Nagai Y., Inui T., Hasegawa K., Popiel H. A., Fujikake N., Fukui K., Yamaguchi M., Urade Y., Naiki H., and Toda T. A molecular therapy for polyglutamine diseases targeting the toxic conformational transition of the polyglutamine protein using the inhibitor peptide QBP-1. The 76th annual meeting of Japanese Biochemical Society, Oct. 2003, Yokohama, Japan.
- ・Popiel H. A., Nagai Y., Onodera O., Inui T., Fujikake N., Fukui K., Urade Y., Ichikawa A., Nakayama K., and Toda T. Suppression of polyglutamine aggregation and cytotoxicity by the disruption of its toxic conformation via proline insertion. The 76th annual meeting of Japanese Biochemical Society, Oct. 2003, Yokohama, Japan.

- ・荒木寿友：シンポジウム「心理学から見た『心のノート』；『心のノート』から見た心理学」指定討論者，2003年9月，日本性格心理学会第12回大会（同志社大学）
- ・荒木寿友：シンポジウム「『心のノート』をめぐって」話題提供者「『心のノート』をめぐる諸問題」2003年8月，日本道徳性心理学研究会第19回大会（大阪教育大学）
- ・平工雄介，伊藤貴美子，川西正祐：「内在性物質存在下におけるUVAによるDNA損傷の分子機構の解明：NADHおよびリボフラビンの比較」，2003年7月，第25回，日本光医学・光生物学会（アスト津）
- ・飯田津喜美，田中晶善，裏出良博，乾 隆：「リポカリン型プロスタグランジンD合成酵素の熱変性機構の研究」2003年5月，第67回日本生化学会中部支部例会（三重大学）
- ・飯田津喜美，田中晶善，裏出良博，乾 隆：「リポカリン型プロスタグランジンD合成酵素の熱変性機構」2003年6月，第3回日本蛋白質科学会年会（札幌コンベンションセンター）
- ・間瀬光人，山田和雄，乾 隆，久田美貴，直木秀夫，丸山敏彦，清木興介，織田浩司，中右博也，裏出良博：「髄液中くも膜下血腫代謝産物の排泄機構の解明・lipocalin-type prostaglandin D合成酵素の役割」2003年3月，第19回スパズムシンポジウム（京王プラザホテル）
- ・乾 隆，井上勝晶，大久保忠恭，裏出良博，八木直人：「X線溶液散乱法を用いたプロスタグランジンD合成酵素の構造変化に関する研究」2003年6月，第3回日本蛋白質科学会年会（札幌コンベンションセンター）
- ・永井義隆，乾 隆，ポピエルヘレナ明子，長谷川一浩，藤掛伸宏，福井健司，内木宏延，裏出良博，戸田達史：「フォールディング病としてのポリグルタミン病とその治療標的」2003年6月，第3回日本蛋白質科学会年会（札幌コンベンションセンター）
- ・井上勝晶，乾 隆，大久保忠恭，裏出良博，八木直人：「プロスタグランジンD合成酵素の構造変化に関する研究」2003年9月，第41回日本生物物理学会年会（朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター）
- ・永井義隆，ポピエルヘレナ明子，藤掛伸宏，乾 隆，福井健司，山口正光，裏出良博，内木宏延，戸田達史：「蛋白質の構造異常・凝集体形成を標的とするペプチドQBPIによるポリグルタミン病の分子治療」2003年9月，第46回日本神経化学会大会（朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター）
- ・岩田俊二：「中山間地域市町村合併の検証—島田市伊久身地区の事例—」，2002年度農村計画学会中部地区セミナー・2002年度第3回三重短期大学地域問題総合調査研究室研究交流集会『市町村合併と農山村地域』，津市アスト津，2003年2月
- ・岩田俊二：「地区区分によるアンケートから見た津市中心市街地活性化方策に関する研究—地方中心都市の中心市街地活性化に関する研究—」，日本建築学会大会（中部大学），2003年9月
- ・岩田俊二，中井加代子：「諸主体の活動から見た津市中心市街地活性化のあり方に関する研究」，第14回日本都市計画学会中部支部研究発表会（金沢市），2003年10月
- ・刀根駿一郎：「子どもたちの今後の生活への提案」（その3），三ツ矢隆重(三重大学)と共著，2003年11月，三重県学校保健学会
- ・村田温子：「中学生・高校生の衣生活について」（第1報）—制服に対する意識および服装への興味関心—，渡辺澄子（松阪大学短期大学部）と共著，2003年5月，日本家政学会第55回大会
- ・村田温子：「中学生・高校生の衣生活について」（第2報）—服装への興味関心度が他の生活領域へ及ぼす影響—，渡辺澄子（松阪大学短期大学部）と共著，2003年5月，日本家政学会第55回大会
- ・冬木春子：「N市における子育てとジェンダーに関する調査 ～父親の育児ストレス～」単独，2003年9月，日本家政学会家族関係学部会（京都女子大学）

- ・丹羽啓子：日本社会福祉学会中部部会春の例会・シンポジスト（「東海地域における地域福祉計画の実際—コミュニティの必要から地域福祉計画へ—」），2003年4月

その他の報告等

- ・乾 隆：第16回三重短期大学公開講座「科学が解き明かす生命の不思議」—生命科学の最前線—，主コーディネーター&スピーカー，骨粗鬆症新薬開発への糸口，2003年9月19日-21日
- ・冬木春子：「現代の家族と子育て」（講演）三重県児童相談所新任職員研修，2003年5月

共同研究

- ・乾 隆：(財)大阪バイオサイエンス研究所「プロスタグランジン D 合成酵素の機能解析」，共同研究員，2003年
- ・乾 隆：(財)高輝度光科学研究センター (SPRING-8)「X線溶液散乱法を用いたプロスタグランジン D 合成酵素 (PGDS) とアミロイドβタンパク質の複合体の構造解明」，共同研究員，2003年
- ・上山英三：独立行政法人理化学研究所バイオ・ミメティックコントロール研究センター運動系システム制御理論研究チーム「生体模倣型視覚情報処理機構と生体運動制御への応用」，フロンティア研究員 (非常勤)，2003年

助成・委託研究等

- ・乾 隆：(財)日本応用酵素協会15年度研究助成金 A「リポカリン型プロスタグランジンD合成酵素 (L-PGDS) の構造と機能に関する研究」(100万円)
- ・冬木春子：「『父親の育児参加奨励論』が父親の育児不安感に及ぼす影響に関する実証的研究」(課題番号15700465) 2003年-2004年度科学研究費補助金 (若手研究B) 本年度150万円

その他

- ・秋永紀子：三重県教育委員会，「学校栄養職員研修会」，講師，2003年8月
- ・秋永紀子：三重県職業能力開発審議会，「三重県技能者表彰審査委員会」，委員，2003年5月
- ・谷口水穂：津市産業労働部農林水産課「もち小麦特産品研究グループ」代表，2003年3月～2004年3月
- ・谷口水穂：三重県農林水産商工部「地産地消ネットワーク津」代表，2003年4月～2004年3月
- ・谷口水穂：津地区「食の教育」研究実践プロジェクト三重短期大学代表，2003年4月～2004年3月
- ・丹羽啓子：鈴鹿市地域福祉課題検討委員会委員，2003年3月～2004年3月
- ・丹羽啓子：桑名市地域福祉計画策定委員会委員，2003年4月～2004年3月